

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2020-104017 (P2020-104017A)

【公開日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-027

【出願番号】特願 2020-71421 (P2020-71421)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 10 日 (2020.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を制御する制御基板と、

前記制御基板に取り付けられ遊技に使用される情報を格納する記憶手段と、

前記制御基板に取り付けられ前記記憶手段とは異なる複数の電子部品と、

前記記憶手段および前記複数の電子部品を視認可能で且つ接触困難に収納する透過性を有する収納部と、

透過性を有する素材で形成され、前記収納部の異なる位置に貼付された第 1 シール及び第 2 シールと、を備え、

前記第 2 シールは、透過性を低下させた領域である複数の有色領域と、前記複数の有色領域のうち、それぞれ離間した第 1 有色領域と第 2 有色領域との間で所定の文字が付されていない部分であって、前記収納部に収納されている前記複数の電子部品を覗くことが可能な覗き部と、を有し、

前記第 2 シールは、所定の加工が第 1 の模様と、前記第 1 の模様とは異なる固有情報を含む第 2 の模様とにより形成されることで、前記第 1 シールよりも前記制御基板の視認性が低いことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、遊技機の制御基板を収納する基板ケースは、ケース部材を 2 つ組み合わせて構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

制御基板は、これらケース部材の制御基板収納部を組み合わせ形成される収納空間内に収納される（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【特許文献１】特開２０１０－１６７１２４号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

しかしながら、従来の遊技機では、例えば、制御基板又は基板ケース等に対する不正行為が行われる可能性が残っており、当該不正行為の結果、遊技機本来の遊技性能が担保されないことで遊技者に正常な遊技を提供することが困難な虞があった。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明の目的は、不正を早期に発見可能とし、遊技者に対して正常な遊技を提供することである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

[適用例１]

上記課題を解決するため、本願の適用例１の遊技機は、遊技を制御する制御基板（５０１）と、前記制御基板に取り付けられ遊技に使用される情報を格納する記憶手段（５０２）と、前記制御基板に取り付けられ前記記憶手段とは異なる複数の電子部品（５９５）と、前記記憶手段および前記複数の電子部品を視認可能で且つ接触困難に収納する透過性を有する収納部（１８０３）と、透過性を有する素材で形成され、前記収納部の異なる位置に貼付された第１シール（１５６１）及び第２シール（１５６０）と、を備え、前記第２シールは、透過性を低下させた領域である複数の有色領域（１５７５）と、前記複数の有色領域のうち、それぞれ離間した第１有色領域と第２有色領域との間で所定の文字が付されていない部分であって、前記収納部に収納されている前記複数の電子部品を覗くことが可能な覗き部（１５７４）と、を有し、前記第２シールは、所定の加工が第１の模様と、前記第１の模様とは異なる固有情報を含む第２の模様とにより形成されることで、前記第１シールよりも前記制御基板の視認性が低いことを要旨とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明によれば、不正を早期に発見可能とし、遊技者に対して正常な遊技を提供することができる。